平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場会社名　萩原電気株式会社　　上場取引所　大
コード番号　7467　URL　http://www.hagiwara.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 岩井　三津雄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役　(氏名) 福嶋　洋二　TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日　平成23年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	13,366	△4.7	91	△66.2	76	△70.4	23	△78.4
23年3月期第1四半期	14,021	31.6	270	―	257	―	110	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　27百万円　(△70.5%)　23年3月期第1四半期　94百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3.55	―
23年3月期第1四半期	16.45	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	32,576	16,546	50.8
23年3月期	36,198	16,618	45.9

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　16,546百万円　23年3月期　16,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	13.00	―	15.00	28.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		14.00	―	14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,100	8.1	390	△50.2	370	△51.0	170	△59.4	25.39
通期	71,000	12.6	1,200	△18.2	1,150	△19.9	600	△18.7	89.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	6,908,000 株	23年3月期	6,908,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	212,235 株	23年3月期	212,207 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	6,695,774 株	23年3月期1Q	6,695,836 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
四半期連結損益計算書 ……7
四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）継続企業の前提に関する注記 ……9
（４）セグメント情報等 ……9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により部品や原材料の供給網が寸断し、幅広い産業に影響を与え大変厳しい状況にあったものの、サプライチェーン復旧に伴い持ち直しの動きも出てまいりました。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、部材不足による減産を強いられるとともに、円高、電力不足などの先行きの不透明感が強まる厳しい状況で推移してまいりました。

当社グループにおきましても、お客様の減産の影響を受けて需要が減少する中、総力をあげて売上高の確保に努めるとともに、継続的なコスト低減を推進し、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は133億66百万円（前年同四半期比4.7％減）、営業利益は91百万円（前年同四半期比66.2％減）、経常利益は76百万円（前年同四半期比70.4％減）、四半期純利益は23百万円（前年同四半期比78.4％減）となるなど、減収減益のやむなきに至りました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

（デバイスビジネスユニット事業）

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを主力に、マイクロプロセッサー、システムＬＳＩ、アナログ・パワー半導体、コンデンサ、リレー、コネクタ、スイッチ等の販売ビジネス、システムＬＳＩ設計、ソフトウェア開発等の技術サポートビジネスを展開しております。

当第１四半期連結累計期間におきましては、民生・ＯＡ用途向けに一定の需要を確保したものの、主要なお客様である自動車関連企業においてサプライチェーン寸断による生産減・供給不足を背景に生産台数が落ち込んだことにより、デバイスビジネスユニット事業の連結売上高は108億51百万円（前年同四半期比9.5％減）、営業利益は２億18百万円（前年同四半期比56.7％減）となりました。

（ソリューションビジネスユニット事業）

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、お客様に対し、自社製品を含めたＩＴ機器の提供やアプリケーション開発を始めとする課題解決型ソリューション提供ビジネス、計測分野やＩＴプラットフォーム基盤構築分野におけるソリューション提供ビジネス、電子・情報プロダクツの開発・製造ビジネスを展開しております。

当第１四半期連結累計期間におきましては、東日本大震災の影響による投資マインドの冷え込みが懸念される中、お客様の一定の情報化投資、設備投資ニーズを的確に捉えて、ＦＡ・計測分野やＩＴプラットフォーム基盤構築分野での積極的なソリューション提案営業を展開したことにより、ソリューションビジネスユニット事業の連結売上高は25億15百万円（前年同四半期比23.6％増）、営業利益は77百万円（前年同四半期比１億８百万円増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

資産合計は、前連結会計年度末に比べて36億22百万円減少し325億76百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて34億65百万円減少し275億81百万円となりました。これは主に、商品及び製品が12億28百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が39億14百万円および現金及び預金が７億88百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、１億56百万円減少し49億95百万円となりました。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べて35億49百万円減少し160億30百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて33億13百万円減少し144億22百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が29億21百万円および未払法人税等が４億10百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて２億36百万円減少し16億７百万円となりました。これは主に、長期借入金が２億25百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて72百万円減少し165億46百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて4.9ポイント改善し50.8%となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社と関わりの深い自動車業界の生産復旧が想定以上に進んでいることから、車載向け電子部品を中心に堅調な需要が見込まれており、第１四半期業績および今後の見通しを勘案し、平成24年３月期の第２四半期および通期の業績予想を修正しております。

詳細は、本日発表しております、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第１四半期連結会計期間において、萩原電気韓国株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社には該当しません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,841	2,052
受取手形及び売掛金	19,184	15,270
商品及び製品	8,072	9,301
仕掛品	344	396
原材料及び貯蔵品	124	175
その他	480	386
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	31,046	27,581
固定資産		
有形固定資産	2,554	2,550
無形固定資産	736	697
投資その他の資産		
その他	1,872	1,759
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,861	1,747
固定資産合計	5,151	4,995
資産合計	36,198	32,576
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,214	7,293
短期借入金	3,800	3,850
1年内返済予定の長期借入金	2,450	2,600
未払法人税等	444	33
受注損失引当金	―	3
その他	827	642
流動負債合計	17,736	14,422
固定負債		
長期借入金	1,075	850
退職給付引当金	420	409
役員退職慰労引当金	299	305
その他	49	42
固定負債合計	1,844	1,607
負債合計	19,580	16,030

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,439	2,439
資本剰余金	2,884	2,884
利益剰余金	11,561	11,484
自己株式	△209	△209
株主資本合計	16,675	16,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	64
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△127	△117
その他の包括利益累計額合計	△56	△52
純資産合計	16,618	16,546
負債純資産合計	36,198	32,576

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	14,021	13,366
売上原価	12,713	12,090
売上総利益	1,308	1,275
販売費及び一般管理費	1,037	1,184
営業利益	270	91
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	5	5
還付加算金	0	3
その他	7	4
営業外収益合計	14	15
営業外費用		
支払利息	17	16
為替差損	8	7
その他	2	6
営業外費用合計	28	30
経常利益	257	76
特別利益		
固定資産売却益	－	0
貸倒引当金戻入額	2	－
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産処分損	0	0
投資有価証券評価損	－	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2	－
特別損失合計	3	1
税金等調整前四半期純利益	257	74
法人税等	146	50
少数株主損益調整前四半期純利益	110	23
四半期純利益	110	23

四半期連結包括利益計算書

【第１四半期連結累計期間】

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	110	23
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	△5
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	5	9
その他の包括利益合計	△15	4
四半期包括利益	94	27
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	94	27
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	デバイスビジネスユニット事業	ソリューションビジネスユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,987	2,034	14,021	―	14,021
セグメント間の内部売上高又は振替高	12	―	12	△12	―
計	12,000	2,034	14,034	△12	14,021
セグメント利益又は損失(△)	504	△31	473	△202	270

（注）１　セグメント利益又は損失(△)の△202は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	デバイスビジネスユニット事業	ソリューションビジネスユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,851	2,515	13,366	―	13,366
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	―	18	△18	―
計	10,870	2,515	13,385	△18	13,366
セグメント利益	218	77	296	△204	91

（注）１　セグメント利益の△204は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。